令和 8年度 管理事業評価調書(8年度対象)

事業コード	0820	事業名	県立病院事業				
所属名	病院事業庁経営課		評価責任者	経営課長 山田 真功			
			作成責任者	馬場 由紀子	ダイヤルイン	052-954-6307	
政策名	県行政の円滑な運営		施策名	予算編成・執行管理を通じた健全な財政運営の確保			
事業目的	県立病院事業会計の救急医療の確保及び建設改良に要する経費等の一部を一般会計において負担する。						
根拠法令・計画等	地方公営企業法第17条の2、地方公営企業法施行令第8条の5						

従事人員・経費等	区分		予算額		決算額(C/F)	
			8年度(当初)	7年度(当初)	7年度	6年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	0.50人 (0人)	0.50人 (0人)	0.50人 (0人)	0.50人 (0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)
	経費	人件費(a)	5,189 千円	4,907 千円	5,198 千円	5,335 千円
		事業費(b)	9,027,978 千円	8,258,225 千円	8,258,225 千円	8,268,178 千円
		公債費(c)	0 千円	0 千円	0 千円	128,036 千円
		計(a)+(b)+(c)	9,033,167 千円	8,263,132 千円	8,263,423 千円	8,401,549 千円
	収入のうち、受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	経費のうち、一般財源等		9,033,167 千円	8,263,132 千円	8,263,423 千円	8,401,549 千円

事業計画の内容及び事業費の内訳

県立病院事業会計の救急医療の確保及び建設改良に要する経費等の一部を一般会計において負担する。
1 負担金(繰出):9,027,978千円
(救急病院 1,018,749千円(救急医療の確保に要する経費)
建設改良 1,653,242千円
保健衛生行政 1,541,153千円(うち、研究所運営に要する経費 1,045,735千円)
精神医療 975,218千円
高度医療 2,002,463千円
小児医療 818,007千円
共済追加費用等 1,019,146千円)

評価

指標／目標値等

	指標(指標によっては算式／解説)	目標年度	目標値	実績値・見込
1	あいち小児保健医療総合センターにおける救急患者数	最終目標	7,000人	
		8年度	7,000人	7,000人 (見込)
		7年度	7,000人	8,756人 (実績)
2	がんセンターにおける研究所と病院との連携研究件数	最終目標	60件	
		8年度	55件	55件 (見込)
		7年度	50件	50件 (実績)
3	県民当たりコスト(PL経常費用/本県人口)	最終目標	ー	
		8年度	ー	ー (見込)
		7年度	ー	1,106円 (実績)
4		最終目標		
				(見込)
				(実績)
5		最終目標		
				(見込)
				(実績)

外部要因等

なし

目的の達成に関する評価

B:目標達成
(判断の理由)
◎主要な指標:2(理由:目標設定した指標の中で最も多くの負担金を受入れている項目に係る指標のため)
・政策医療の推進により、管理事業全体としては全ての指標で目標を達成した。
・あいち小児保健医療総合センターにおける救急患者数の指標については、救急医療の体制強化により、目標を達成した。
・がんセンターにおける研究所と病院との連携研究件数の指標については、臨床応用研究を推進したことにより、目標を達成した。

コスト指標の増減分析

7年度の県民当たりコストは、6年度の1,106円と同額であった。

課題

県民の医療ニーズを踏まえた、救急医療・高度先進医療などの政策医療を提供するため、一層の診察機能の充実・強化に取り組む必要がある。

今後の方向性

今後も引き続き、県立病院として求められる医療を着実に提供していく。

＊「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。